

令和5年度「一般選抜前期日程試験（個別学力検査・英語）」講評

ねらい

前期試験では、大学で求められる基本的な学力を試すことを念頭に、共通テストとは異なる視点で総合的な英語力を問う。具体的には、長文の内容を素早く読み取り、その要点を英語で簡潔に表現する力や、未知の語彙について文脈中で説明されている箇所を的確に理解する力(あるいは、語彙の説明がなされている箇所を的確に理解する力)、自分の考えを英語で論理的に表現する力を試すことをねらいとしている。

全体講評（Ⅰ・Ⅱ）

「ねらい」にある「要点を英語で簡潔に表現する力や、未知の語彙について文脈中で説明されている箇所を的確に理解する力」を試す問題である。記述式問題の解答においては、問題文の意味を読みとれていない解答や、正解に該当する箇所をただ抜き出しているだけの解答、完全な文（主語、動詞を伴う文）で答えられていないものなどが多かった。正解を導き出すには、本文だけでなく問題文もよく読み、問いに対応した形に本文の表現をパラフレーズさせて答えることが重要である。日頃から主語と動詞の対応などを考えながら、英文の問いに対して適切に対処する練習を行ってほしい。また、本文中の難しい単語の意味に関しては、ある程度前後の内容から予想することができる。接続詞、形容詞、副詞などに着目して、文の大まかなニュアンスを把握することを心がけよう。

各設問（Ⅰ・Ⅱ）

Ⅰ

問1

- (ア) 構文理解が決め手となる問題である。引用符の中は命令文 (Imagine) であること、if 節は imagine の目的語であること (if の意味は「～かどうか」ではない)、because 節は refuse の理由であることなどの理解が、出来不出来の分岐点となった。概ね 5 割の正答率であった。
- (イ) Censors が何を目的としているか (また、していないか) を記した英文であるが、語彙力と和訳の表現力で差がついた。Censors の意味は、p. 1 冒頭の問題指示文にある censorship が手がかりになる。語彙力が不足している点として、word と world を混同してしまう、picture が「挿絵」の意味であることに気づかない、cut を「削除する」でなく「切る」と訳してしまう、work を「作品」でなく「仕事」と訳してしまう、などがあつた。文章の意図に応じた和訳を作成する言語能力が不足していると感じられる答案が目立った。概ね 3 割の正答率であった。
- (ウ) アメリカ人の気質を記した英文であるが、語彙力と文法理解の有無で差がついた。目立ったのは、能動態と受動態の組み合わせ don't want to be told を「言われたくない」と訳せない、what they can (read) を「(読める) かどうか」とする誤訳、most of all を want に対

する主語とした誤解、make up their own minds の意味を知らない、letting ... them を「自分たちの代わりに他人にさせる（やってもらう）」と訳せないなど、であった。ここでも文章の意図に応じた和訳を作成する言語能力が不足していると感じられる答案が目立った。概ね3割の正答率であった。

## 問2

空所に最も適当な語を入れる問題。総じて非常に正答率が低く、正答率は2割に満たないほどであった。共通テストであまり問われないとはいえ、文章の細かいニュアンスを理解するためには文法・語法の理解は必須である。普段からの継続的な学習を行ってほしい。

- (A) So + be 動詞（あるいは助動詞）+ 名詞で「～もそうである」の意になる用法を問う問題。直前で言及されている“Swimming Pool”という作品と空所を含む文の“The Rabbits”という作品が同様の物議を引き起こしていることを考えれば、解答は得られるはずである。
- (B) 空所を含む文をより詳しく説明している第10段最終文の「ドクター・スースの本を手放すことによってひそひそと人種差別のことを話す人間になる」という内容に着目。要はドクター・スースの本を検閲しても人種差別がなくなるわけではないということなので、それに合致するために空所に入れるべき言葉はⒷ less である。
- (C) for oneself で「独力で」の意なのでⒶ for を入れる。問2の中ではこの問題の正答率は比較的高く、4割ほどであった。

## 問3～5

語の同義語や定義を答える問題。こちらも正答率が大変低く、1～2割程度であった。こういった問題は、単語の意味を知っているかどうかではなく、文脈から語の意味を推測できるかを問うている。前後の内容をしっかりと読んでから答えてほしい。

### 問3

rebuke は「叱責」の意。黒人と一緒に泳ぐことを拒んだ子がネガティブな反応をされていて、かつ第1段最終文で冷静に何かを言われていることを考えると、その反応は「賞賛」でも「無視」でも「怒り」でもなく、Ⓐの disapproval 「非難」であることがわかる。

### 問4

objectionable は「不快な、気にさわる」の意の形容詞。objection 「反対」の意の名詞は受験生なら知っていてほしい単語なので、そこから解答を導き出してほしいが、もしこの語を知らなくても第5段第2文以降の、ドクター・スースが削除した露骨な差別的表現の具体例の内容からも正解はⒷ unpleasant であることは推測できる。

### 問5

moral は一般的には「道徳」という意味が浸透しているが、続く第8段第2文の内容が物事の善悪に関するものではなく、ドクター・スースの発禁処分的一件からわかることをまとめたものであることに着目。moral には「教訓」という意味もあるので、正解はⒸである。

- 問6 「誰が」と「なぜ」が問われているので、この2点に答える必要がある。「誰が」は（黒人に差別意識のある）アメリカ南部の白人であり、白人一般ではない点に注意すること。「なぜ」に関しては、概ね6割の正解率であった。
- 問7 第4段第2文にある““problematic” aspects of Dr. Seuss”の具体的な内容を問う問題。正答率が非常に低く、2割にも満たなかったのは残念であった。ほとんどの解答が第4段第1文の“it’s hurtful to remove them [Dr. Seuss’ books] from public square”を抜き出していたが、この解答では問題文との対話さえ成立していない。英問英答の正解は必ずしも前後の文にあるわけではない。もう少し問題文の内容を吟味してから解答すること。正解にあたるのは第5段第1文に書かれている内容である。
- 問8 ドクター・スースの作品のうちの6冊が発禁になった後何が起こったかを問う問題。問題文で「第7段によると」と正解にあたる部分を限定したためか、正答率は高く8割ほどであった。同段第2文の内容をまとめればよい。
- 問9 第9段第1文にある、“the deepest fear of the censor”「検閲のもっとも重大な心配」の具体的内容を問う問題。正答率は2割程度であった。二重下線部の直後にコロンの(:)があることに着目。コロンは日本語の「つまり、すなわち」などと同様の働きをして、直前の内容の具体的説明などを導く記号である。つまり、コロンの内容をまとめればよく、「読者が「間違った考え」を持つようになること」などの内容が含まれていれば正解とした。readers を leader「指導者、リーダー」と誤読している解答が多かったが、そのように訳せば文脈上おかしなことになることに気づけるだけの読解力は身につけてほしい。
- 問10 Hautzig 氏「ドクター・スースの作品を誰にでも読めるようにしておくべきだ」(第11段第2文)と主張する理由を答える問題。正答率は3割ほどであった。問題文の指示どおり第12段に着目すると、同段第3文に「我々は彼(ドクター・スース)の良いところと悪いところ、軽妙な気まぐれや、それを損なわせる暗い人種差別について話し合うことができる」とある。つまり、作品を検閲して発禁にするのではなく、むしろ積極的に読んでもらうことで読者は人種差別のことをより深く考えることになるということなので、そのようにまとめると良い。上述の問7同様に、日本語で答える問題も必ずしも前後の内容を抜き出して訳すだけでは完全な正答にはならない。「つまりはどういうことなのか」と反芻しながら本文を読み進めていくことが大事である。
- 問11 「SNS を運営する会社はメッセージを事前に検閲するべきか」という問いへの答えを記述する問題。どちらの立場に立つかを明確にし、多少無理があっても理由を述べられているものは正解としたが、正答率は5割程度であった。問題文の内容を理解していない解答はほとんどなかったが、censor「検閲」を「校閲」(スペルミスや誤字の訂正)と勘違いしているものは散見された。また、主語、動詞、目的語などの基本的な文型が整っていないために減点せざるを得ない解答も多かった。日頃から基本文を覚えるなどして基本を自分の中に定着させることが大事である。

## II

### 問1・2

これらは語彙知識に関する問題である。whip up, palatable は難易度の高い語彙である。このように難易度が高い語彙に解答する場合は、前後関係からの推測を行うことが必要になる。

#### 問1

whip up の前後は can't be bothered to whip up a regular batch of curry となっているので、whip up 以下は「curry を～する」の意になると推測できる。whip up の前の can't be bothered to ～は「わざわざ～する気になれない」の意なので、curry をどうにかする上で最も面倒なものが正解となる。よって正解は㊦の make。whip up は「(料理を) 手早く作る」の意。

#### 問2

palatable は their favorable ways to improve their instant curry meals from palatable to desirable「palatable から desirable なものにインスタントカレーを改良するお好みの方法」という文脈で使われている。desirable「望ましい」は元の動詞 desire が「～を強く望む」の意なので、ここでは「かなり食欲を刺激する(カレー)」ということになる。また、第1・2段を通じてインスタントカレーが不味いとは書かれていない。よって、palatable は「不味くはない、悪くはない」くらいの意になると推測できる。よって㊦の just OK が正解。

問1は正答率が高かったが、問2は正答率が低かった。

#### 問3 タイトルは No time to cook? No problem! There are easy ways to improve instant curry

「料理の時間がない？問題ないよ！インスタントカレーをよりおいしくする簡単な方法があるよ」の意である。したがって、タイトルから簡単に問題文には「インスタントカレーをよりおいしく作る3つの方法」が書かれていると推測できる。あとは小見出しをそれぞれ訳していけば解答できる問題である。ただし、小見出しの add, ordinary, at least の若干難しめの語彙を知らなくては訳せない。問1、2と同じく、問3でも語彙力が必要となる。正答率は高い問題であった。

#### 問4 第1段を読んで、why might people not be bothered to cook something 「なぜみんなわざわざ何かを料理する気になれないのか」を述べる問題である。第1段は5行しかない。

この中から解答を見つけ出せばいいのであるから、文章を順番に読んでいけば、同段第1文にある there are times when you just can't be bothered to whip up a regular batch of curry 「わざわざ普通のカレーを作る気になれないときがある」ことの理由が第2文以降にいくつか書かれてあることが理解できる。正答率は中程度であった。

#### 問5 問題文は「この記事によれば、インスタントフードの共通の問題点は何か」の意。小見出しには「カレーをよりおいしくする3つの方法」がそれぞれ具体的に書かれてあるのだから、これらの箇所にはインスタントフード全般のことは書かれていないと推測できる。したがって第1～3段の中に答えがあるが、それぞれの文章を読んでいくと、第2段の instant curry isn't always the tastiest version of the dish 「インスタント食品はいつも一番おいしい食べ物であるわけではない」という文にぶつかる。第1～3段の中で、イ

ンスタント食品の欠点を述べている文はこの文しか見当たらない。したがって、この文が解答となる。正答率は中程度であった。

- 問6 「どの野菜が普通のカレーでよく使われているか」という問いに英語で答える問題。第3段後半にある *regular curry* を含む文に注目すると、*onions* が解答だとわかる。「野菜」を解答しなくてはならないのに、次の文の「肉」まで含めた解答も散見された。しっかりと設問を読み取る必要がある。
- 問7 概ね8割程度の正解率であった。「第4段によると、インスタントカレーを美味しくする3つのコツは、誰を対象としたものか」という問いに対して、段落後半の「インスタントカレーを食べ飽きており、少々バリエーションを増やしたいと思っている人」の部分を読み取れば、解答は③だと推測できる。①と迷った受験生もいたかもしれないが、「大好きだ」とは言っていない。
- 問8 第5段第2文中の *it* を含む下線部は「いくつかトッピングを加えると、それをより美味しくすることができる」の意なので、その前文を参照に、「ほとんど汁状の、野菜や肉がほんの少ししか入っていないようなカレー（のこと）」と体言止めで解答するとよい。
- 問9 第7段の下線部「のりたま」を具体的に説明する問題。直後のコンマ以降で「のりたま」の説明がされているので、この部分を和訳するだけでよい。
- 問10 正答率はもう少し高い数字を期待したが4割程度だった。問題文に *if you are tired of curry with rice* とあるので、第8段第2文にある *If they're tired of curry with rice* という問題文とほぼ同意の一節が見つけられれば、この辺りに解答のヒントがあることがわかるはずである。答えとしては同文直後の *some people pair it with pasta.* が候補に挙げられるが、*it=curry (roux)* であるので、*it* が指示するものをきちんと明記する必要がある。*You can pair curry with pasta.* や *You can add curry to pasta.* などの答えが考えられる。その他にもカレーうどん、カレーそば、キーマカレー風などが候補として挙げられる。指示文（8ページに掲載）によると、この問題は英文で問われているので、主語と動詞を伴った形の英語で答える問題である。この点、日本語で答えた解答は見受けられなかったが、「主語と動詞を伴った形」の英文であることについては不完全なものが見受けられた。また、本文から抜き出しただけではうまく問題文に対応しないので、多少の工夫を必要とする。しかし、本文からの中途半端な抜き出しで解答していて解答として十分でないものが多数見られた。例えば、同段第3文の *you've got some frozen udon or soba noodles.* などの部分だけを抜き出してもここには *frozen* という言葉があるので、うどんを電子レンジでの加熱調理することについての記述も必要になる。*You can add "Dashi" soup and instant curry roux to udon or soba noodles.* などにすれば調理法の説明は必要なくなる。
- 問11 正答率は6割程度。第10段第1文の下線部 *the ability of appetizing presentation to add enjoyment to a meal* 「食事を楽しくするための食欲をそそる演出」の例を挙げれば良い。この段落で例として挙げられているのは、(1) *try eating your instant curry by candlelight*

(2) (try eating your instant curry) served on your finest plate (3) try using whatever other items you happen to have around the house to recreate your favorite anime in curry form の3つである。その中から2つを挙げれば良い。しかし、ここでは日本語で問われているので日本語で答えるべきである。不完全回答としては名詞だけで答えているケースがある。例えば、上記(1)に対して、「キャンドルライト」あるいは「蝋燭の光」のような解答が見受けられた。きちんと「～する(こと)」のような形で答えてほしかった。「好きなアニメ」と答えられてもカレーとどのような関わりがあるのか明確にできず説明不足である。また、英語の綴りで答えているものもあった。指示文をきちんと読んでいないということになる。注意が必要である。

問12 正答率は3割弱というところである。この英文の質問は2つある。1つ目は、「問題文で挙げられているインスタント・カレーを美味しくする方法であなたが絶対にしないであろう方法は何か」で、2つ目は「そう思う理由は何か」というものである。多くの答えが、1つ目の質問を読まないで、2つ目の理由だけを書いているのだが、何に対する理由だと考えたのであろうか。問に対する答えが対話として成立していない感がある。また、1つ目の問いを肯定で捉え「どの方法を採用か」の答えをしているものもあった。さらに、一応対話にはなっているが、「すべての方法を試す(絶対にしないものはない)」という解答もあって、質問の趣旨とは異なった解答になっているものがあった。候補の選択の煩わしさから回避するための解答のような印象を受ける。(この解答については部分点对応をした。)

### 全体講評(Ⅲ)

#### 総評

昨年同様、与えられたトピックについて100語以上の英文パラグラフを書く問題が2問出題された。

トピック1は「最も良いと思う選択肢をひとつ選び、その理由を述べる」タイプの問題で、選択肢は「外食する、自炊する、調理済みのものを買う」の3つであった。この問題については、多くの受験生が「自分の意見(選択)+理由」をある程度表現できていた。自分が選ばなかった選択肢と比較したり、実体験だけでなく社会的な背景にも言及したりと、議論を深めることが出来ている優れた解答も見られた。

トピック2は「自分がお薦めする作品をひとつ選び、その理由を述べる」タイプの問題で、「本、漫画、映画、ゲーム」の4ジャンルから選択するものであった。この問題では、質問をきちんと理解できていない解答が3割近く見られた。特定の作品を選び、なぜそれをお薦めするのか(作品の内容も含めて)説明することが求められているにも関わらず、「漫画は本より読みやすいのでお薦めする」や「ゲームは友達と一緒にできるから一番良い」等という風に、ジャンルを比較している誤答が目立った。英作文問題で最も大切なのは、「問われたことに適切に答える」ことである。従って、まずは質問文を正確に読み解くことが求められる。

全体的な注意点としては以下3点が挙げられる。まず品詞の確認をすることが大切である。せっかく単語を知っていても、動詞の部分に名詞形を使っていたり、形容詞が副詞になっていたりと、残念な間違いが見られた。次に基本的な文構造(それぞれの文に主語と動詞があるかどうか)

を確認することは必須である。まずは短文でも良いので、きちんとした英文構造を身に付けてほしい。最後に文と文のつながりを考えて、適切な「つなぎ表現」を用いることは、読み手の理解につながるので工夫が期待される点である。

### 答案作成についての解答例および講評

最後に採点者による解答例と講評を載せておく。自学自習や学校の授業で今年度の問題を使われる場合は、こちらの解答例を模範解答としてお使いいただきたい。

## Sample answers

***Topic 1: Which do you think is better, eating out in a restaurant, cooking at home, or buying a ready-made meal from the convenience store? Please describe in detail why you think so.***

Restaurant, convenience store, and home-made meals are all delicious, but home cooking is the best. First, homemade food is cheap. A ready-made meal costs 500 yen, but I can cook curry rice for 4 people for 500 yen. Also, cooking at home is healthier. I can add vegetables and meat and reduce oil and salt to match my needs, I cannot do this in a restaurant. Most importantly, home cooking provides wonderful memories. Yesterday, I made okonomiyaki (Japanese style pancakes) with my sisters. We had a great time listening to music by SixTones and JO1, chopping vegetables, and choosing our favorite ingredients. For these reasons, I cook at home whenever possible.

***Topic 2: What is one book, comic book, movie, or game that you would recommend to a friend? Please describe in detail why it is so special to you?***

I would recommend a manga called “The Flying Witch” by Chihiro Ishizuka. First, I would recommend it because I read manga to relax, and this manga is light hearted. My favorite character is Akane, a very powerful witch. She is independent and carefree (but also careless); she goes wherever she wants without telling anyone!! I hope I can be as relaxed as her. Also, the manga has many imaginative magical creatures, like Hamabe a ‘beach rabbit’ who plays games, like arm-wrestling, with the witches. These creatures help me forget about school and homework. I often read this manga after my bath and enjoy imagining daily life in Northern Japan with the friendly witches from this manga.

## Comments

First, many of the paragraphs we read were well written with appropriate grammar and vocabulary, which is very pleasing. One hint I would add for students wishing to write better paragraphs in the future is to remember to add details and specific information. You can see in paragraph one we explained “healthier” as more vegetables and meat and less oil and salt, gave a specific value (500 yen) for the cost of a meal, and gave specific examples of our favorite music. This is the same in the second paragraph where we describe our favorite characters in as much detail as possible.

I would also recommend that test takers read the questions carefully. For the second question, many students had prepared to write a “compare and contrast” paragraph, but the question asks for a description of ONE item not a comparison of genres. Test takers need to be ready to adapt their writing to the question.